

# 企業ビジョン・長期ビジョン“Vision 2035”

---



人・世界・未来を繋ぎ、豊かな<sup>あす</sup>明日を創ります

アポロリンク株式会社

# ストーリーライン

---

1. 環境認識と企業ビジョン具体化の必要性
2. アポロリンク企業ビジョン
3. 実現したい企業ビジョンの具体的なイメージ
4. "Vision 2035" ～2035年のビジョンと定量的ゴール～
5. "Vision 2035"実現に向けた「基本戦略」「重点課題」「事業戦略」への展開

# 1. 環境認識（機会と脅威）と企業ビジョン具体化の必要性

## 環境認識

### 機会

- ✓「ヒューマン」「デジタル」「グリーン」視点に基づく地方創生の動き ↑
- ✓高齢化によるシニア・ヘルスサポート需要増 ↑
- ✓人的資本投資の高まり ↑
- ✓環境関連需要増 ↑

### 脅威

- ✓セルフSSの増加に伴う販売機会減少 ↓
- ✓リテールサポートニーズ減少可能性 ↓
- ✓EV普及に伴う車両部品減少 ↓

## 私たちが今行うべきこと

SS業界の構造的問題（SS数減少、セルフ化、人材難etc）やCNによるEV化の流れ等の環境変化を踏まえると、これまでの当社の収益を構成してきた要素の永続性が見込めないことが考えられます。

どのような環境下においても当社が持続的に成長するためには**企業変革と新たな価値創造**が必須の課題です。

様々な社会問題の中で活動する一企業市民として、問題解決に真摯に貢献しながら利潤を追求する、**両立の経営**に取り組むことで当社の**社会的意義を明確にしてい**く必要があると考えます。

よって、その危機感を全従業員で共有し、**長期的に目指すべきゴールを具体化し**、マインドを変え、行動を変え、組織と機能を変え、ゴール実現に向けた新たなスタートを切ります。

## 2. アポロリンク企業ビジョン

**“be One”**

**人・世界・未来を繋ぎ、豊かな<sup>あす</sup>明日を創ります**

### ステートメント（解説）

アポロリンクという社名は“つなぐ”存在になるという意味が込められています。

当社が顧客、地域社会、パートナー会社を繋ぐことで、全ての人々が豊かな明日を迎えるための一助となると信じています。

“be One”私たちは全ての人々とともに、ひとつになって歩んでいきます。

### 3. 実現したい企業ビジョンの具体的なイメージ

#### 【アポロリンクの「繋ぐ」】

⇒新たな「共創」の関係へ！

AL⇔特販店/SS⇔地域社会

少子高齢化対策  
健康増進

AL⇔グループ企業⇔各企業の顧客

AL社員・グループ社員

#### 社会的意義

地方創生



活躍促進



#### 【具体的な「豊かな明日」のイメージ】

- ✓地域で使用されている移動手段に対して価値あるメンテナンス商品やサービスが提供されている（モビリティ）
- ✓高齢者を中心とした人々が元気で生活できるサービスが提供されている（シニア・ヘルス）
- ✓その他地域毎で抱える「お困りごと」に対して、外部企業とのコーディネーションを行い課題解決がなされている（ソリューション全般）
- ✓各グループ企業で抱える「お困りごと」に対して、外部企業、グループ企業間とのコーディネーションを行い課題解決がなされている（ソリューション全般）
- ✓AL社員、グループ社員がリスキリングにより活躍の機会が増え、高いモチベーションで働いている（人的資本経営）

## 4. “Vision 2035” ～2035年のビジョンと定量的ゴール～

# “Sustainable Growth 2035”

～変革と価値創造から真の自立へ～

### ステートメント

#### ✓当社の財産は『人』

「人を基本とする経営」を大事にしたい価値とし、**人的資本への投資**を長期に渡り継続し、働く全ての人々が**成長と働く喜び**を感じ、**自律した人材**となる会社を実現します。

#### ✓当社の財産は『つながり』

これまで築いてきた出光特販店・SSやグループ会社並びに協力会社との信頼関係を**新たな『共創』関係（エコシステム）**へと発展させます。

#### ✓高いスキルとモチベーションで起こす『変革』

お客様のニーズや地域社会の要請に感度を持ち続け、**新たな価値とソリューションを提供**する為にあらゆる『変革』を起こします。

#### ✓真の『自立』へ

『変革』へのチャレンジの積重ねにより、いかなる状況においても**絶えず成長し続ける『真に自立』した会社**（＝Sustainable Growth）を実現します。

## 5. “Vision 2035”実現に向けた「基本戦略」「重点課題」「事業戦略」への展開

### 基本戦略

**1. 基盤事業の強化  
(自動車関連/ギフト)**

**2. 成長事業の強化  
(教育関連/シニア)**

**3. ソリューションビジネスモデル  
(新エコシステム) の構築**

**4. 事業戦略を支える  
ケイパビリティ強化**

### 重点課題

- 1) 効率的な浸透率の向上
- 2) 物流、商流の改革 (EC含む)
- 3) 新規チャネルの開拓
- 4) 新商品、新サービスの開発

- 1) シニア・ヘルス業容拡大
- 2) 教育関連事業の拡大
- 3) 新規事業の創出

- 1) 真の顧客視点での  
ソリューションサービス構築
- 2) グループ内共創体制の構築
- 3) デジタルを活用したビジネスモデルの  
構築

- 1) DX推進  
(業務プロセス、企業文化の変革)
- 2) 人的資本への戦略的投資と育成
- 3) 高速PDCAによる機動力の向上

## 以 上



人・世界・未来を繋ぎ、豊かな明日<sup>あす</sup>を創ります

- |                         |                              |
|-------------------------|------------------------------|
| 1. 私たちは、未来志向で進化します。     | 6. 私たちは、誠実に、感謝の気持ちをもって行動します。 |
| 2. 私たちは、スピード感をもって挑戦します。 | 7. 私たちは、「人」を大切にします。          |
| 3. 私たちは、地域社会に貢献します。     | 8. 私たちは、健康・安全を第一に仕事に臨みます。    |
| 4. 私たちは、志高く考動します。       | 9. 私たちは、コンプライアンス経営を実現します。    |
| 5. 私たちは、仕事を通じて成長していきます。 | 10. 私たちは、毎日を全力で楽しみます。        |